

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年 1月 5日

事業所名：児童発達支援事業所P-S

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指導訓練室は大きさの異なる部屋が3部屋あるため、個別支援、集団支援によって部屋を使い分けています。	はい:18、どちらともいえない:3、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・個別、少人数での活動なので十分だと思います。 ・体を動かす作業をする場合には狭いように感じる。	・今後も利用人数や子どもの特性に合わせて部屋を使い分けていきます。
	2	職員の適切な配置	・定員10名に対して直接支援をおこなう職員は4名配置しています。その中で利用の希望や子どもの特性に応じて1対1などの職員体制をとっています。	はい:21、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・とても適切であると思います。 ・もう少し先生方の人数が多いといいなと思う。	・今後も利用人数や子どもの特性に合わせた職員配置をおこなっていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関の段差が大きいため、高低差を小さくするために足置き台を設置しています。また、靴を置く場所が明確となるように目印をつけるなど、視覚的な手がかりを活用しています。 ・階段にはすべり止めマットを敷き、転倒防止に努めています。また手すりも設置しています。 ・子どもたちが活動する部屋は、活動に集中しやすいように掲示物等は掲示していません。 ・身体に障害があるなど、階段の上り下りが難しいお子さんには、1階の部屋を使って活動を実施しています。	はい:18、どちらともいえない:2、いいえ:1、わからない:0、未回答:1 ・集団と個別で部屋が分けてあるのでわかりやすいです。 ・階段等、手すりは付いているが歩行が難しい子どもにとってはしんどそう。玄関なども段差がある。	・現在の対応を継続しつつ、必要に応じて設備の追加等を検討していきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・各部屋は、毎日サービス提供終了後に清掃、消毒をしています。 ・週に1回、玩具の洗浄、消毒などを行います。また、使用した玩具を口にいれるなどした場合はすぐに洗浄、消毒をしています。 ・各部屋に収納があるので活動に必要なものは、そこに片付けています。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・机と椅子のシンプルな環境で集中できています。 ・清潔かつシンプルで子どもが集中しやすい環境づくりをされていると思います。	・今後も引き続き、事業所内の環境整備に努めていきます。
業務	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・全職員で毎朝の朝礼時間と週1回の職員会議で気がついたことを話し合うようにしています。また、頻度は定まっていますが、管理職や指導職級の職員での会議も実施しています。 ・業務担当を年度ごとにローテーションすることで、多くの職員の視点が入るようにしています。 ・360°評価を取り入れた人事評価制度を年に2回実施しています。 ・職員への定期的な面談を実施しています。		・職員間での話し合いを継続し、必要に応じて業務改善をしていきたいと思っています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・契約している社会保険労務士や税理士から、適宜助言を受けています。		・現在の対応を継続しつつ、他の外部機関による評価についても検討していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修に参加しやすいように受講料や交通費といった研修費の支給体制を整備しています。 ・職員間での事例報告や参加した研修内容をまとめて発表するなどの内部研修の機会を設けています。 ・虐待防止、非常災害時の対応、緊急時の対応、感染症対策等の内部研修を実施しています。		・現在実施している様々な研修を今後も継続して実施していきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ニーズを聞き取ったうえで児童発達支援管理責任者と担当職員を中心として、複数の職員で話し合いながら課題を整理し、児童発達支援計画の作成をおこなっています。	はい:21、どちらともいえない:0、いいえ:0、 わからない:0、未回答:1 ・して欲しいことなどをお話すると、すぐに実践していただけます。 ・親以上に子どもの特性、そして課題を理解してくれていると思います。 ・子どもの性格や様子もよく見てくださっています。 ・保護者の要求を丁寧に汲み取って計画を作成してくださっています。 ・計画書に書かれていないことでも、その時必要とあらば取り組んでくださる柔軟性があり、ありがとうございます。	・今後も十分にニーズを聞き取り、複数の職員の視点を取り入れて課題等を分析し、計画を作成していきたいと思います。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・ニーズ、子どもの状況を踏まえて個別活動や集団活動を実施しています。また、それらを踏まえた児童発達支援計画を作成しています。		・今後も子ども一人一人の状況に応じた活動を検討し、計画を作成していきたいと思います。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・最終的な目標を検討し、そこから計画の期間や現在の状況に応じて達成可能な目標に細分化し、段階的に目標がステップアップしていけるような計画を検討しています。そのうえで、それらの目標を達成するための活動設定や支援方法などを具体的に記載するようにしています。		・今後も目標を達成するための具体的な活動の設定や支援方法等を記載した計画の作成に努めていきたいと思います。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画した目標が達成できるように段階的に活動を設定し、支援しています。		・今後も作成した計画に基づいた支援を実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・支援開始前に打ち合わせをしています。前回の利用時の様子などを振り返りながら、活動内容や支援方法について意見を出し合い、活動プログラムを決定しています。		・子どもたちにとって楽しみつつ、学びを積み重ねていけるようなプログラムが提供できるように、職員間での話し合いを行い、活動内容を検討していきたいと思います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・利用定員に応じた予約状況によりですが、利用日や時間の変更について希望があった場合は、極力対応できるように努めています。また、体調不良等で休みとなった場合には、希望者に対して空きがある日を伝えるなどしています。 ・利用する全てのお子さんがこども園等に在籍しているため、夏休み等の長期休暇時には希望に応じて利用時間の変更をしています。		・可能な限りご希望に沿って対応していきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動内容によっては継続して実施することで発達が促進されるものもあるため、意図的に固定化した活動もあります。ただし、固定化した活動の中でも支援方法を一部変更するなど、子どもの状況に応じて対応しています。 ・目標が十分に達成された活動は、内容を職員間で話し合い変更しています。	はい:19、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:1、未回答:1 ・先生の手作りのもの、子どもの好きなものを使ったりいろいろな工夫されていると思います。	・児童発達支援計画に基づいて活動を実施していきます。また、子どもたちが楽しみつつ、学びを積み重ねていけるような工夫を検討していきたいと思います。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前に打ち合わせをしているので、その際に活動内容、支援方法、職員の役割などを検討しています。		・今後も支援開始前の打ち合わせをし、支援内容や役割分担などの確認を徹底していきたいと思います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後に職員間で気になった点などを話すようにしています。業務のスケジュール上その日のうちに振り返りが難しい場合には、職員共有のメモに情報を残しておき、次の利用までに必ず話し合いをするようにしています。		・今後も職員間での支援の振り返りを継続していきます。当日中にできない場合には、共有メモを活用して振り返りをしていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・活動内容や支援内容、子どもの様子を書面にまとめています。まとめた記録は、次に利用するときに保護者に確認してもらっています。また、打ち合わせ時には、その記録を見ながら、前回の様子を振り返り、活動内容や支援方法などを検討しています。		・支援内容や子どもの様子が具体的にわかるような記録の作成に努めていきます。また、記録をもとにした振り返りや打ち合わせを継続して実施していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・少なくとも6か月に1回はモニタリングを行い計画の見直しを行っています。計画を見直す際には極力、全職員で話し合いの機会を設けるようにしています。		・引き続き定期的なモニタリングを実施して、子どもの成長に合わせて計画の更新をしていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・会議には子どもの状況を最も把握している職員が参加したり、聞き取りに対応したりしています。どうしても参加が難しい場合には、事前に検討事項などを聞き取ったうえで、書面にて情報提供をしています。		・今後も可能な限り子どもの状況を最も把握している職員が参加するようにしていきます。難しい場合には、書面での情報提供を実施していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在の所、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用はありません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在の所、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用はありません。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・依頼があった際には情報共有のための会議等に参加したり、園などからの見学を受け入れたりしています。また、必要に応じて引継ぎのための情報提供書の作成をおこなっています。 ・保護者からの希望に応じて日々の支援記録をコピーし、保護者を介して園等に情報を提供していることもあります。		・今後も依頼に応じて園等への情報提供をしていきたいと思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供。	・放課後等デイサービスは実施していません。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・現在、センターとの連携は特にありません。専門機関での研修については、案内があった場合には回覧することで全職員に情報を提供しています。また、研修にかかる受講費や交通費などの支給体制を整備しています。		・必要に応じて連携をしていきたいと思います。 ・研修については、案内があったものを事業所内で回覧し情報を共有するとともに、各個人で調べた研修の情報についても共有していきたいと思います。また、研修の受講費や交通費を支給する体制を継続します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・契約している30名のお子さん全員が保育所等に通園しています。その中で週に1～2回、通園前または通園後にP-Sを利用されていることもあり、事業所として交流の機会は提供していません。	はい:7、どちらともいえない:2、いいえ:4、わからない:6、未回答:3 ・なくとも良いと思います。 ・交流はない。 ・日頃子どもが通う園との連携もない。	・契約している子どもたちはこども園等に在籍しているため、事業所として交流の機会を設ける予定はありません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域住民の招待、地域の行事等への参加はしていません。しかし、依頼があれば他事業所や園等からの見学は受け入れています。		・個人情報保護の観点から事業所を利用する児童や保護者以外の関係のない方の受け入れはご遠慮いただきます。利用している児童が在籍している園から見学の希望があった場合や相談支援事業所のモニタリングなど、サービス提供に関連した方の受け入れは今後も継続します。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・支援の内容は、毎回迎えの際にその日の振り返りの機会を設けて説明を行うようにしています(発達支援に保護者が同席する場合は、その都度説明をしています)。 ・利用者負担については、契約時に書面を提示しながら説明を行っています。また、利用者負担に変更があった場合は、その都度変更内容をまとめた書面を配布して説明を行っています。月々の利用料は、請求時に明細書を配布しています。	はい:21、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・丁寧に説明していただきました。	・今後もわかりやすく丁寧な説明ができるように努めていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・計画作成後に書面を提示しながら説明をしています。また、モニタリング実施時にも計画の内容を含んだ資料を示しながら振り返りをしています。	はい:20、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:1、未回答:1 ・丁寧に説明していただきました。	・今後も書面を提示しながら丁寧な説明ができるように努めていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニングは実施していません。ただ、サービス提供後の振り返りの機会を活用して家庭や園でのかわり方などを話す機会を設けています。また、必要に応じて家庭等での困りごとに近い場面を設定し、保護者と一緒に対応する機会を設けるなどしています。	はい:15、どちらともいえない:1、いいえ:1、わからない:3、未回答:2 ・家庭での対応、子どもへの伝え方など具体的に教えていただけて嬉しいです。 ・何が苦手か、何が原因か、どんな声かけをすると良いか、その都度質問したり、見本を教えていただいたりしています。	・「ペアレントトレーニング」の実施は予定しておりません。今後もサービス提供時に同席いただいたり、サービス提供終了後に振り返りの機会を設けたりしているため、そこで家庭等の日常場面でのかわり方などについて個別に対応していきたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・毎回振り返りの機会を設けているため、その際に目標の進捗状況、今後の展開の予定などを説明するようにしています。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・先生と話す時間をつくってくださっているのて様子がすぐに聞けて安心です。	・毎回実施しているサービス提供終了後の振り返りを今後も継続していきます。活動の内容や目的、進捗状況などを丁寧に分かりやすく説明できるように努めていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・サービス提供後の振り返りの機会などの中で相談があれば対応しています。また、保護者同席での発達支援も実施しているため、その都度、相談に対応するように努めています。 ・日常の中での課題を聞き取り、活動に反映するなどしています。	はい:17、どちらともいえない:2、いいえ:0、わからない:2、未回答:1 ・都度相談にのっていただけて助かっています。 ・相談したことに対して的確な助言をしてくださいます。家や園での様子を聞いてくださり、問題があれば一緒に考えてくださいます。	・今後もサービス提供後の振り返りなどの機会の中で相談に対応していきたいと思います。また、日常の中での課題等を聞き取って活動に反映したり、日常の中で取り入れられることなどを一緒に考えたりしていきたいと思います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者同士の連携支援は実施していません。	はい:1、どちらともいえない:3、いいえ:6、わからない:10、未回答:2 ・特に必要ないと感じます。 ・保護者同士話せる機会があればいいなと思います。同じこども園、これから通う小学校など、一緒に保護者さんと知り合うきっかけがあればいいなと思います。	・現在の所、連携の支援はしていませんが、多くの要望がある場合には検討していきたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情に対する対応体制を整備しています。苦情があった場合は、その対応体制に沿って対応させていただきます。また、毎年職員研修として対応等の確認や話し合いを実施しています。 ・事故だけでなく苦情に関するヒヤリハットの記録を残すようにしており、職員会議で事案を報告し情報を共有しつつ、今後の対応について検討しています。 ・苦情対応研修を年に1回実施しており、研修後にはその内容を玄関に設置している掲示板に貼っています。	はい:13、どちらともいえない:2、いいえ:0、わからない:6、未回答:1 ・苦情を出したことがなく、聞いたこともないので。 ・苦情の話を聞いたことがありません。あったとしても適切に対応してくださると思います。	・苦情に対する対応体制を整備しているので、契約時にその内容について説明をしています。それを今後も継続していきます。 ・日頃から苦情が発生しないように、丁寧な対応を心がけますが、苦情が発生した場合には整備している体制に基づき、真摯に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・子どもの特性や発達の状況に応じて、視覚的な手がかりを活用するなど、一人一人に合わせたコミュニケーション手段を検討しています。保護者向けのものでは、必要に応じて書面やメモを手渡して説明をするようにしています。	はい:20、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:1、未回答:1 ・先生に相談しやすい雰囲気、環境をつくってくださっています。	・今後も一人一人に合わせて、伝わりやすい手段で情報を伝えられるように努めていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・定期的な会報の発行はしていません。サービス提供後に、その日の活動内容を振り返る時間を設けているため、その際に必要な情報を伝えるようにしています。 ・連絡体制は電話での連絡に加えてメッセージアプリも活用しており、複数の連絡手段を確保しています。 ・ホームページに年末年始等の閉所日を記載しています。メッセージアプリを使用されている方には同じ内容をメッセージで送信し、アプリを使用されてない方には直接伝えています。	はい:1、どちらともいえない:4、いいえ:3、わからない:12、未回答:2 ・行った時に説明を受けています。 ・会報があったら嬉しいです。子どもの学習で使ったものも、まとめてもらえると嬉しいです。 ・会報があったんですか。全く知りませんでした。	・予定等の必要な情報の連絡は、現在の体制を維持して発信していきます。また、現在事業所でよく使用するオリジナルの教材をまとめたホームページを作成しているため、そこで活動の一例を発信していきたいと思っています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に個人情報の取り扱いに関する同意書の内容に沿って説明し、対応を行っています。例えば在籍しているこども園等から連絡があった場合にも、保護者に確認を取るようにしています。	はい:20、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:1、未回答:1 ・注意されていると思います。	・今後も個人情報の取扱いに関する同意書の内容に基づいて、相談支援事業所や市町などからの情報の照会に対応していきます。
非常時	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを策定し、年に1回全職員で読み合わせを行い、情報の共有をおこなうとともに必要に応じて内容の加筆、修正を行っています。 ・保護者への周知は、緊急時対応は契約時に説明をしています。また、内容の加筆や修正をおこなった場合はその内容を事業所内の玄関に掲示するようにしています。その他、防犯対策として民間警備会社との契約、窓ガラスへのミラーフィルムの貼り付け、防犯用品の設置をおこない、感染症対策として職員はマスクの着用、室内の換気などを行っています。	はい:19、どちらともいえない:2、いいえ:0、わからない:0、未回答:1 ・説明を受けています。	・全職員での各種マニュアルの読み合わせ、内容の更新等を今後も継続していきます。 ・保護者に向けた情報の周知では、今年度から玄関に掲示板を設置し、そこに情報を掲示するようにしました。今後もその方法を継続していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・災害発生に備えて、職員研修として事業所から指定避難場所までの経路を実際に歩き、危険箇所等の把握すること、災害時の対応マニュアルの読み合わせを通して、対応等の情報を共有しています。利用児童に対しては、地震を中心に自然災害に関する質問をしたり、指示に応じて机の下に隠れる訓練をしたりしました。発達の状況に応じて視覚的な手掛かりを活用して実施しています。実施後は、事業所内の玄関にその情報を掲示するようにしています。	はい:15、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:4、未回答:2 ・訓練されているか分かりませんが、されていたら安心です。	・今後も現在実施している研修、訓練等を継続していきます。また、現在は取り組んだ内容を玄関に設置している掲示板上に書面で掲示していますが、今後はメッセージアプリでその情報を送信することも検討していきます(その場合には、アプリを使用していない方には送信したものと同様の内容の書面を配布しています)。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
等 の 対 応	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・毎年、職員が虐待対応力向上研修に参加し、そこで得た情報を内部研修という形で還元しています。虐待対応力向上研修に参加する職員は、年度ごとに交代するようにしています。また、従業者向けの虐待防止のためのチェックリストを活用し、結果を集計した後に全職員で話し合いをしています。		・今後も職員の研修参加、内部研修の実施、チェックリストの活用と集計結果に基づく話し合いなどの取り組みを継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・事業所内で身体拘束に関する話し合いを年に2回実施しています。 ・やむを得ず実施する場合には、指針の定め通り、組織的な決定、子どもや保護者に対して事前に十分な説明をおこない了解を得ること、児童発達支援計画に記載することを遵守した上で実施します。		・今後も年に2回実施している話し合いを継続していきます。また、やむを得ず身体拘束を用いた対応を行う場合には、指針の定め通りに対応していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・契約時に食物アレルギー等の有無を聞き取っています。食事提供はしていませんが、お菓子を提供することがあるため、聞き取った情報をもとに対応を検討しています。		・今後も契約時の聞き取りを徹底し、記録を残すとともに職員間での情報共有を徹底して対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットに関する事案が発生した場合は、報告書を作成して職員会議にて情報の周知、対応方法の検討をしています。 ・ヒヤリハットは事故につながる可能性があったものに加えて、苦情につながる可能性があったものについても報告書を作成し、職員会議にて話し合いをしています。		・今後もヒヤリハット事例が発生した場合は、職員間で情報を共有していきます。皆様が安心、安全に事業所を利用できるように、それらの取り組みを通して、職員一人一人が事故等を未然に防ぐ気づきを高めていきたいと思います。